



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Affiliated with The International Association of Y's Men's Clubs  
Chartered : 10 May, 1961

# 東京むかでワイズメンズクラブ

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-MUKADÉ "CENTIPEDE"

Office : Tokyo YMCA Toyoko Center  
2-2-20 Toyo, Koto-ku, Tokyo, Japan

〒135-0016 東京都江東区東陽2-2-20  
東京YMCA東陽町センター内  
TEL 03-3615-5565

2019年7月 ~ 2020年6月

会長 今井 武彦  
副会長 森本 晴生  
直前会長 城井 廣邦

国際会長主題 「より良い明日のために今日を築く」  
アジア会長主題 「アクション！」  
東日本区理事主題 「勇気ある変革、愛ある行動！」  
東新部部長主題 「心を尽くして、YMCAのために」

書記 鈴木 健彦  
会計 高津 達夫  
担当主事 星野 太郎

## 2020年6月本例会（700回）

（ 強調月間 / 評価 ）

### 今月の聖句

このように、後にいる者が先になり、  
先にいる者が後になる。  
So the last will be first, And the first last.  
(マタイ 20-16)

2019~2020年度 下田会議に出席しよう！！

日時:6月27日(土) 13:30~16:00

場所:YMCA東陽町センター(詳細後日連絡)

### 6月本例会

日時 2020年6月16日(火) 18:00~20:00  
場所 東京YMCA東陽町センター・YMCAホール  
会費 1,500円

出欠は6月12日(金)までに高津会計までお知らせください。

### 6月評価について

2020年はコロナに明け、コロナに振り回された。私たちはクラブメンバーとして、どこまでクラブ活動に係れたのか。クラブとして東新部、東日本区のメンバーとしての役割はどうなっていたのか。個々の役割の中に自分の行動を当てはめ、振り返りが大切です。コロナを乗り切るチャンスを期待しています。前に進もうでは!

(神保 記)

### HAPPY BIRTHDAY

21日 櫻井浩行 29日 城井姚子 30日 星野里奈

結婚記念日おめでとう

該当者なし

### 6月本例会プログラム

準備	吉田 司
受付	高津 達夫
司会	星野 太郎
会長	今井 武彦
開会点鐘	
ワイズソング	一同
ゲスト・ビジター紹介	司会
今月の聖句・感謝	鈴木 健彦
楽しい食事	
卓話 「コロナ禍後の世界」	城井 廣邦
送別の辞	吉田 司
強調月間アピール	神保伊和雄
ハッピーバースデー・結婚記念	司会
スマイル	
諸報告	各担当者
閉会挨拶	副会長 森本 晴生
閉会点鐘	会長 今井 武彦

### 2020年5月の記録 (\*累計は期初からの24累計)

会員出席状況		メーキャップ記録		スマイル	0 円
正会員	11名	出席(メネット)	0名	記録なし	B Fポイント 現金累計 0 円
功労会員	1名	出席(コメント)	0名		切手累計 0
在籍者数	12名	出席(ゲスト)	0名		
出席(正会員)	0名	出席(ビジター)	0名	5月本例会、他中止のため	リングプル 累計 67.2 Kg
出席(功労会員)	0名	例会出席総数	0名	出席率記録 なし	むかで基金 今月分 0 円

会費振込先 みずほ銀行 亀戸支店 普通預金 3013071 東京むかでワイズメンズクラブ

# 2021年に向けての シニア Y・Y・Y キャンプ 特集



【2017年5月 第1回 シニア Y・Y・Y キャンプ 山中湖湖畔にて】

## ▼ シニア Y・Y・Y キャンプ 特集挨拶

東京むかでワイズメンズクラブ会長 今井武彦

今年の5月は、新型コロナウイルス感染拡大により、第4回「シニア Y・Y・Y キャンプ」を中止にしました。日本も、世界も、今まで経験したことのない試練に直面しています。このような中でも、私たちが目指す高齢者をターゲットとした「シニア Y・Y・Y キャンプ」の2021年5月に向けての準備を開始いたしました。

そこで過去を振り返り、次へのステップへ進むべく今回の特集をいたしました。

## ▼ シニア Y・Y・Y キャンプ 参加ご希望の皆さん

コケッココーでキャンプデビューした 神保伊和雄

今年残念でした。東京むかでワイズメンズクラブとしても大変残念でした。

『いっぱい楽しいが待ってます。人生100歳時代 楽しむのはこれからです 才能を眠らせていませんか。』

これが今年(2020年)第4回「シニア Y・Y・Y キャンプ」のキャッチコピーです、でした。

昨年(2019年)第3回は、『1日10回楽しいキャンプ。楽しいがいっぱい。楽しい才能発見キャンプ』

一昨年(2018年)第2回は、『楽しい時をつくろう シニアを楽しむキャンプ開催 第2回目ももっと楽しくしました。楽しむ才能を発見しよう』

一昨々年(2017年)第1回は、『楽しさも特別製「シニア Y・Y・Y キャンプ」は楽しみ方も、参加日も、プログラムもフリー  
チョイスです』

その前年(2016年)プレキャンプは、『僕達が過ごしたあの時代に帰って、楽しい時を過ごしませんか。』

テーマは『無理せず楽しく過ごす』です。テストランの年でした。

コロナ騒ぎで、今年の「シニア Y・Y・Y キャンプ」は中止になりました。

ワイズメンズクラブの、健康な皆さんが山中湖へお帰り頂くのが大前提です。そして富士山をバックに水をたたえた山中湖、寒くもなく、暑くもなく、湖水を渡る風、悠々と湖であそぶ白鳥、ビッグカヌー、キャンプファイヤー、祈りの時、語らいの時。

2021年の初夏に集おうではありませんか？ 嬉しいこと、楽しい事、心温まるとき、懐かしい仲間、新しい出会い、みんなで作る。

やってみよう！ 挑戦してみよう！ 眠っていたものを目覚めさせよう！

## ▼ キャンプ参加の意義

城井廣邦

シニアが人生100年の時代を迎え、これからどう生きて行くべきか問われています。今までの延長線では活力に満ちたシニアライフは送れないことは明確です。シニアが自立して、元気に楽しく生きて行くために、少しの努力をすることを提案しています。

今まで、何十年も書いたことのない習字を「まつぼっくり」で書くことで、想像以上のアートが誕生し、感動する方がたくさんいます。またできるだけ多くのプログラムに参加して、忘れていた「楽しさ」を発見して、東京に帰っても楽しい生活を送って頂きたいと考えています。



【2018年第2回キャンプでのデッサンプログラム】

【2019年第3回キャンプでのボッチャ競技大会】



桜美林大学谷内ゼミとのコラボで「ボッチャ」体験して、大変な盛り上がりでした。リーダーを務めた学生さんも「本当に楽しかった」ということで、今後はゼミの学生全員がシニアキャンプに参加していただくことになりました。「ボッチャ」だけでなく「何か新しいプログラム」「リーダー的役割」を担当していただき、シニアキャンプを盛り上げて頂ければと思います。

前回参加いただいた5人の一般の仲間達からは、「本当に楽しかった」と言って頂き、来年の予約まで入っています。

来年の企画は検討中ですが、きっと楽しいものになることを保証します。今年予定していた新しいプログラム、ハワイアンダンスは、伴野さん、高澤さん(ウクレレ)が中心となって行う予定です。フリフリ楽しそうです。

これから楽しく生きて行くためのヒントをつかむ「シニア Y・Y・Y キャンプ」です。

## ▼ 写真プログラムで作品を作ろう

伊丹一之

最近では、コンパクトデジカメが廃れ、スマホに取って代わられるようになり、写真プログラムでは、フレーミングを中心に据えて、スマホでもインパクトのある写真が撮れるようにアドバイスをしていきます。もちろん、一眼レフで

の高度な撮影にも対応します。

山中キャンプ場の中には、良い被写体がたくさんありますし、富士山が見えればなおラッキー。撮った写真は、その場でA4サイズにプリントして、作品展を開き、キャンプに参加した皆さんに鑑賞していただき、お持ち帰りいただきます。



【2018年第2回キャンプでの写真作品】

## ▼ むかで喫茶コーナー

高津達夫

これまで山中湖の「シニア Y・Y・Y キャンプ」に参加された方の、気軽な飲み物として、むかでコーヒーが好評でした。コーヒーが高齢者の身体に適度な刺激を与え、新陳代謝を良くし、体調を整える効果を持っています。コーヒーカップをもって、笑顔の挨拶からキャンプが始まります。そして、一日は早朝の一杯のモーニングコーヒーからスタートです。

キャンプ場の食堂の一区画に「むかで喫茶コーナー」を設け、コーヒー、紅茶、日本茶が何時でも、自由に飲めるようにしています。コーヒーの香りは水で決まります。クッキーもあります。モーニングコーヒーから始まり、プログラム合間の息抜き、交流タイムの時、自由時間の森林浴をしながら湖水と霊峰富士を眺めつつ、山中湖周囲の自然の摂理をコーヒーを通して味わうことです。

## ▼ 詰将棋コーナー

高津達夫

将棋は、子供の頃から馴染み親しんだ脳トレーニングの一つです。高齢者の方は少なからず体験或いは経験している遊びだったものです。誰でも盤上の駒を見ると、懸命に詰ませることに集中し、智慧を絞り出すことは脳の活性化を推進します。時には子供時代に戻り、無邪気になり、詰ませることに緊張し、それは自然と認知症の発症を抑えます。

## ▼ 書・生け花コーナー

高津寿江

「楽しむ書」「野の花を挿ける」の二つを担当します。マンネリ化しないように、毎回少しでも新しいスタイルを入れようと心掛けています。常に新しい発見があることが大事かなと...

また、キャンプで楽しんだことを日常生活の中で活かせることも大事なことだと思います。例えば、帰宅後、道端で雑草花を空瓶などに何げなく挿ける。また、裏に一文字筆書き(上手、下手全く関係なく)、誰方かに葉書を

出す等。

何でも Let's challenge !! Let's enjoy !!



【2019年第3回キャンプにて皆で書いた超大作書作品】

## ▼ シニア Y・Y・Y キャンプに寄せる頃

田下昌人

前略。新型コロナ禍の天津波の中でも、各種ウイルス、  
細菌に強烈なる抵抗力を示し、とうかむしろこれらを糧  
として、益々のご健勝たるを拝察いたし、敬服にたえませ  
ん。当方も、4月18日に小田原市の有形文化財・岩瀬邸  
で予定していた小室等さんとのコラボライブを延期に見  
送ったほか、径なき所にみちを創り出す大好きな冒険的  
単独登山も、万が一の遭難時の世間体を鑑み、控え気  
味に沈潜を装っています。

扱て、「シニア Y・Y・Y キャンプ」も一年間のお預けと  
なるとても淋しいのですが、“歌”を通じてつたないお手  
伝いをさせて頂いている身から、来年以降に向けての当  
キャンプの発展に資するつもりで、“歌”の持つ不思議な  
力について、ボーイスカウト運動や社会などの実践経験  
を振り返りつつ、記してみようと思います。

ボーイスカウト運動の創始者、英国人故ロード・ベー  
デン・パウエル・オブ・ギルウェル(以下B・P)の(音楽に関  
する)言葉の紹介と私見を交えて。

**\*“スカウトはいつもほほえみと歌を忘れない。そうす  
れば自分も楽しいし、他の人も楽しくする” B・P**

(世界共通の最強コミュニケーションツール、それは  
2S ; SMILE と SONG だ)・・・(昌)

**\*“唱歌と演劇は自己表現の訓練にこの上なしだ。ま  
た一人残らず自分だけが喝采されようと言うのではな  
く、全体が成功するために、自分の役割を覚え、上手  
にやろうとするから、よいチームワークということにも  
なる” B・P**

(歌は、いつでも・どこでも時とところを選ばず、ピアノ  
も電源も要らず、「自分の声と身体」さえあれば事足りて  
至極便利だ。

また力強いリズムは心臓の拍動に通じ、安定した基  
礎ベースを生み出す。さらに斉唱(ユニゾン)だけで

なく、和声(ハーモニー)パートをつけて歌うこと(合  
唱)は、いかに個性派揃いの集団の中にあっても相  
互が他のパートをよく聞き(傾聴)、それに和したハー  
モニー(協調性)をグループとして醸し出すことにより、  
より良い結束(目標成果)を生み出すことにも通じるの  
ではありますまいか? それが飽くなき快感とグルー  
プ感の上昇スパイラルの成功体験の癖になったりし  
て)・・・(昌)

以上雑文ではありますが、我々がシニアキャンプへの  
応援メッセージとさせていただきます。

来年山中湖で元気に再会し、楽しく声を合わせて歌い  
かつ語りましょう! その時までご自分の責任パートの改  
善練習にお励み頂き、“Keep On Singing!”

## ▼ Y・Y・Y キャンプに寄せて 深尾香子

子どもには、現役には、そしてシニアにはその時々の  
輝きが無くては果たせない役割があります。「レクチャー  
付き茶の湯」は、正にこのキャンプ参加者にこそ、ここで  
仕入れたウンチクと技術を、地元に戻り、あるいは、ゆか  
りのYMCAの子どもたちに向かって、大いに発揮して  
頂きたい!

学ぶ楽しさを忘  
れない人は、いつ



でも人の輪の中心に居られます。【第2回キャンプ・茶会】

## ▼ 笑いでコロナに打ち勝とう!

民族芸能を守る会 茨木 蓑

この会の実行委員会メンバーの城井氏とのご縁で、毎  
年「山中湖キャンプ寄席」に色んな若手の噺家を引き連  
れて、ご参加の皆さんの前で勉強させて頂きました。

お陰様でその連中も真打に昇進したり、TVに出演したり、  
各地の寄席で人気も出てスクスク育っております。

残念ながら、2020年度はコロナの影響で中止となりま  
したが、彼らはいま自宅で(無観客席)じっくりと稽古中。  
2021年、満を持してその成果を皆様にお届けしたいと

思います。



【2017年第  
1回キャン  
プ「山中  
湖キャンプ  
寄席」】

## ▼ 山中の夜はJazzでお楽しみを

Jazz Vocalist 鈴木史子

一年中で、一番気持ちの良い5月に、山中湖畔のYMCAキャンプ場に呼んで頂くようになって三年目、今年は全世界を巻き込んで“新型コロナウイルス”騒動で、なにもかも全てキャンセルになってしまいました。私も、そして、皆さんも、自分自身の生活スタイルを続ける事が出来なくなりました。私の長い人生で初めての事です、戦争でなくて、良かった、と云う人もいます。

話を山中湖に戻しましょう。私にとって、朝の礼拝がとても懐かしく、中学・高校時代の毎日の礼拝で、讃美歌を唄い、聖書を読み、楽しかった学生時代を思い出しました。【2018年第2回キャンプでのジャズライブ】



来年は又、朝は礼拝に参加して、夜はJazzを聴いて、楽しんでいただく、そんな楽しい山中湖キャンプにしたいですね。皆様、体に気をつけて、元気でお会い出来るのを楽しみにしています。

## ▼ シニア Y・Y・Y キャンプに参加して

Grass Dew 廣田健一

皆さんこんにちは、ブルーグラス・バンドのGrass Dew (グラス・デュー)と申します。

「シニア Y・Y・Y キャンプ」の、第1回と第2回に呼んで頂き、とても楽しい時間を過ごさせて頂きましたので、その思い出を紹介させていただきます。

その前にブルーグラスって何のこと？って思われる方へ少し説明をさせていただきます。大きく分ければ、アメリカの音楽で、カントリー&ウエスタンと呼ばれるジャンルに属します。簡単に言うと木こりの歌で、アメリカの民謡に近い音楽です。山で仕事が終わってから、皆で焚火を囲んで歌ったり楽器を弾いたりしていたのが始まりです。山ですから電気がありませんので、電気楽器は使いません。(最近では、大きくて運びにくい為、ベースだけエレキです)皆で焚火を囲んでワイワイやるんですから、皆が主役です。誰かがギターを持ち出して歌い始めると、

フィドル(=ヴァイオリン:我々はハーモニカ)が伴奏を付ける。バンジョーがメロディを弾く、マンドリンがリズムを刻む。誰ともなく、コーラスを付けたり、掛け声をかけたりして、どんどん盛り上がっていったと思います。我々もそんな雰囲気が出せれば、皆さんに喜んで頂けるかな〜？と思って演奏しています。【第2回キャンプでのバンド演奏】



我々は、「上手いね、と言われるより、もう一度聴きたいね、と言われるバンドになりたい」と思っています。さて、そろそろ本題に入ります。夕食が済んで、我々の出番になり演奏を始めました。なるべく皆さんの知っていそうな曲を選曲しています。そのせいか？とても温かい拍手やら掛け声等を頂き、うまく乗せられてついつい何曲も余計に演奏してしまうのが常でした。

ある時はハンディキャップの子が跳び上がったり、「オ〜オ〜」とエールを送ってくれたりして、演奏者冥利に尽きました。無事演奏を終わらせた後には、ワンコインでも美味しいワインと、おつまみが堪能できるカフェを楽しめました。このシニアキャンプは、参加している皆さんがそれぞれに得意なことを自発的に企画実施している、と聞いておりましたが、まさにその通りのキャンプだな〜と感じました。とにかくあつという間に楽しい時間が過ぎてしまった覚えがあります。是非、皆さんと“また”一緒に楽しい時間を共有したいと思います。では、「シニア Y・Y・Y キャンプ」でお会いしましょう

## ▼ 第3回 シニア Y・Y・Y キャンプに参加

高山病ハイランダーズ代表 坂田 晶

我々高山病ハイランダーズは、コンサートのためにお招きいただきました。東京YMCA山中湖センターは多種の花・草木に囲まれた自然が美しく清涼な環境で、快適に過ごすことができました。中でも、センターの湖岸から眺めた逆さ富士は一生心に残る情景でした。

参加されていたメンバーの皆様は温かく、初めて参加する我々にも気軽に声がけくださり、緊張する間もなく溶け込むことができましたように思えます。食事の折、入浴の折、我々の演奏の折にも、メンバーの皆様の笑顔とアット

ホームな雰囲気があり、今でも思い出すと恋しく思います。

キャンプでは、様々なプログラムとして吹き矢体験や茶道体験があり、どれも興味を惹かれるものでした。その際は演奏準備の都合で、残念ながら実際に参加できたプログラムは限られたものでしたので、次回のキャンプへ参加したい気持ちがいつそう募りました。初めての参加に加え、我々の時間も限られており、ドタバタとした中での2日間でしたが、大変貴重で素敵な時間をありがとうございました。



【2019年第3回キャンプでの演奏会后、記念撮影】

### ▼ キャンパーとして参加して

#### シニア Y・Y・Y キャンプへの想い 磯部成文

東京YMCA少年部のキャンプから50年以上、「CAMP」の四文字に魅せられて。山中湖平野までの車中は、ワクワク、ウキウキの連続、懐かしいキャンプサイトに入ったトタン、79歳のココロは高校生になります。

キャンプの「楽しい、面白い」は、お世話するむかでクラブが魅力いっぱいのプログラムをたくさん準備、はじめてお会いする人とのワイガヤが終わりません。私は山中湖まで出前してくださる落語が大好きです。次回の「Y・Y・Y キャンプ」が待ち遠しいです。

### ▼ キャンプライフ継続中

小田浩成

シニアキャンプは私の人生の中で、初めての経験だった。体験したことのないコトが体験でき、新しい感動がきたり、想像以上のキャンプだったように思う。

私にとっては改めて「これからどう生きて行くべきか」をキャンプを通して感じる事ができ、これからをいかに楽しく生きて行くかを考える機会になった。

プログラムを通して皆が「こんなこと出来た」「思ったより楽しい」「私にも才能があった」といった新しい気づきが生まれるように思った。

プログラムは参加者、皆がリーダーのようになってキャンプを魅力的に進めていく独特の雰囲気がある。自分のやりたいように自分達でプログラムをすすめる。決まりが

あるようで自由で自然流がいい。こんな体験は初めてである。

73才になって、これからをどう生きるかを気づかせてくれたのも「シニア Y・Y・Y キャンプ」だと思う。現状の生活の中では気づき得ないことが発見できた。私に新しいエンジンを載せた気分である。次にどんな気づきがあるか楽しみである。

### ▼ 雑感

伴野好子

シニアキャンプに参加してみたら、私もまだ成長できる可能性に気づいてびっくり！！

新たなる方々との出会いと、さらなる広がりを楽しんでいます。

野尻の「あゆみキャンプ」と、海の日の日飯山なちゅらの「Iyama 2020 Ke aloha o Ke kai」今年にはできるかしら？

山中湖のあのヨットの復活お願い〜〜

### ▼ シニアキャンプ参加にあたり

高澤直

私は1942年6月6日生まれて間もなく78才になります。昨年、女房と2人で初めて参加させていただき、感動しました。

生演奏を楽しみに参加しましたが、全ての企画(ボッチャ・吹き矢・ボート遊び・スケッチ他)に参加し、本当に楽しいひと時を過ごさせていただき、感謝感謝でした。

今年はずっと楽しくなるだろう！と更に期待していましたが、“コロナウイルスの影響で中止！”との連絡を受けた時は「ガッカリ」し、しばらく何も手につきませんでした。

あと1年待つのは長いですが、楽しみにしていますので又、宜しくお願いします。ハワイアンも頑張ります！

### ▼ シニア Y・Y・Y キャンプ体験記 長谷川久子

私の弟、城井からチラシが来て、なんだか楽しそうなキャンプだなと思ったのがきっかけでした。YMCAってどんなコトをやるのか、そして、山中湖や富士山を見たいなーが重なって参加することに決めました。

昔からの友人を誘ってみたら、「みなで話をしたいし、YMCAだし、いいね」と5人の仲間での参加となりました。何十年もやったことのない絵を描いたり、書を書いたり、色々なプログラムがあつてとても楽しかった。友人たちも「すごく楽しかった」と言ってくれました。みんなでカヌーに乗れたのは都会では体験できないこと。朝、当番リーダーが起床の金を鳴らしてくれるのも、メリハリがあつて良かった。スタッフの人達が一生懸命にやってくれている様子はとても好感が持てました。

この歳になって、シニアキャンプを楽しむことが出来る

ことに感謝しています。

今年は7人の友人を誘って楽しみにしていたが、コロナで中止になり、残念です。来年もシニアキャンプに友人を誘って行きたいと思っています。

これから楽しんで生きて行くことを思い起こさせてくれた「シニア Y・Y・Y キャンプ」です。シニアキャンプは、誘った友人はみんな行こうと言ってくれる、今まで見たこと、聞いたことのないキャンプです。

来年、皆さんにお目にかかれるように元気でいたいと思います。

## ▼ キャンプに参加して

大野奈美

私は母と息子の3人で参加しています。みなさんの酸いも甘いも噛み分けたこそこの「今、ここ」を楽しむ姿に、これからどうやっていけばいいのか、ちょっと先から旗を振ってもらっているような感じがしています。

母にとっても、自閉症で知的障害がある息子にとっても、非日常に身を置くキャンプは様々な経験ができて、いいリフレッシュになっています。なのに今年は中止になってしまい残念・・・来年山中湖でお会いしましょう。【第1回キャンプ・湖畔にて】



## ▼ 「YYY余島シニアキャンプ」について

大野 勉(神戸ポート)

日本YMCAキャンプ100年と余島キャンプ場開設70年を記念して、神戸YMCAが誇る余島キャンプ場にてシニアキャンプを企画しました。名付けて「YYY余島シニアキャンプ」。Y:YMCAとともに、Y:ワイズと、Y:ユースが一緒になって、作り上げていきます。

余島キャンプリーダーOB・OG、神戸YMCA会員、余島を愛する人々、ワイズメンの中から実行委員会を立ち上げ、大野ベンが実行委員長を務めております。

余島キャンプ場の情報は下記WEBより

<https://kobeymca-yoshima.jp/center/>

## 「川口子ども食堂」報告

コロナの影響で休暇を余儀なくされている子ども食堂ですが、今回2回に分けてパントリーを行う事ができました。企業や給食センターから届いた余剰食料品を各子ども食堂が配給して回る作業です。その食料の中には数十キロのお米やお肉、車に積みきれないほどの段ボールに詰め込まれた冷凍食品、給食に出てくるつくねや、さつま揚げ、そして和菓子やチョコレートなどのお菓子も

ありました。

このコロナショックで、川口子ども食堂に来てくれている多くのシングルマザーは職を失っており、アルバイトで何とかその場をしのぎようとしています、実際には誰にも届かない悲鳴を上げている状態です。

食料品を届けると、子どももお母さん達も大変喜んで受け取ってくださりながら、ご自身の気持ちを漏らしておられました。

「もう限界でノイローゼになりそうです」

家の冷蔵庫の大きさはさまざまですが、パンパンになるまで皆さんにもらってもらい、あとで届いたメールから、「給食とおんなじ味で美味しかった!」「お米がもらえて、ほんとに助かった。」「さくらもちがおいしかった!」など、たくさんの感想をいただきました。

限界を感じている弱い立場の人々を励ますこと。いまこの働きは緊急性があり、その必要は大きいです。

どうか子ども食堂の働きのためにお祈りいただければ幸いです。川口岩の上の教会牧師 鈴木 悟

## 会 長 通 信 (一年を振り返って)

昨年7月からこの6月までの1年間は、むかでクラブにとっても、東日本区のワイズメンにとっても、そしてYMCAにとっても、激しく揺さぶられたときでした。

今は、コロナウイルスの感染拡大に一樣歯止めがかかりつつあり、最後まで残った「東京・神奈川・埼玉・千葉の一都三県と北海道」の緊急事態宣言も間もなく解除される直前までになりました。(5/23現在)

昨年7月より会長・副会長・会計が交代し、「折が良くても、悪くても励もう。一淡々と種をまき続けよう」の方針を立てました。ただ、永年にわたり「むかでの顔」として活躍いただいた櫻井君の功労会員シフトは寂しいことでした。

振り返って、昨年7月は区の方針「Change! 2022」のもと、会員増強運動でスタートしました。期初13名の会員数(功労会員含む)でスタートしましたが、諸事情によりこの期末会員数は11名(功労会員含む)となります。

川口子ども食堂は、7月より岩の上教会・ベツレヘムベーカー竣工により再開。再開後は、鈴木・長谷川・神保諸兄の尽力で、支援継続でき感謝です。

8月の恒例の野尻ファミリーキャンプ参加者は、会員の半数にとどまり、少々寂しかったです。神戸ポートクラブとの親しき交わりの時が与えられ感謝です。

9月、10月の関東・甲信越への台風・大雨により被害大きく、10/12開催の東新部の部大会(銀座ライオン)は中止となりました。(11/3に延期して開催)

しかし、新年に入り、中国のコロナウイルス感染拡大、日本でも感染拡大し始めました。

3月上旬にコロナウイルス感染拡大を踏まえ、5月開催で準備していた第4回「シニア Y・Y・Y キャンプ」開催中止を決めました。

3月のむかでクラブ本例会は開催しました。しかし、4月の政府による緊急事態宣言を踏まえ、4月、5月と本例会・第二例会を中止してまいりました。この間のブリテンは原則、メール配信としました。

さらに、コロナウイルス感染拡大で、6月に予定されていた恒例の東日本区大会(十勝)も中止となりました。

以上がこの1年のむかでクラブの活動です。期初に掲げた方針「折が良くても、悪くても励もう」と掲げましたが、種をまき続けられたかは、正直、疑問です。

次期も同じスタッフでスタートです。「種はまきました」と言えるように努めたいです。(今井 記)

### < 6月の予定 >

- 2日(火) 東京むかで・ブリテン印刷会 (16:00~)
- 2日(火) 東京多摩みなみ・6月本例会
- 6日(土) 第23回東日本区大会(十勝) 中止
- 8日(月) 東京町田コスモス・6月本例会
- 9日(火) 東京・6月本例会
- 11日(木) 東京センテニアル・6月本例会
- 16日(火) 東京むかで・6月本例会
- 17日(水) 東京町田スマイリング・6月本例会
- 19日(金) 東京世田谷・6月本例会
- 23日(火) 東京むかで・6月第二例会

### < 7月以降の予定 >

- 7日(火) 東京むかで・ブリテン印刷会 (16:00~)
- 10日(金) 第1回東新部役員会(東陽町センター)
- 18日(土) 第1回東新部評議会(東陽町センター)
- 21日(火) 東京むかで・7月本例会
- 28日(火) 東京むかで・7月第二例会 (伊丹 記)

## 東京YMCAニュース

### ◆夏キャンプ中止も事業再開へ向けて

すでにHPでお知らせしていますが、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、今年の東京YMCAの夏キャンプは残念ながら中止となりました。十分な準備を進められず、先の見通しも不透明なため、苦渋の決断となりました。子どもたちにとってもリーダー・スタッフにとっても、キャンプのない夏という本当に信じられない、心にぽっかり穴が空いてしまった気持ちです。

でも、今年はYMCAキャンプ100年の年。キャンプサイトで会えなくても、メインホールで歌えなくても、ファイヤ

ープレイスで火を囲めなくても、子どもたちやリーダーたちに少しでも「キャンプ」を届けることはできないだろうか？ みんなと「キャンプ」でつながることはできないだろうか？ そう考えて、リーダー・スタッフたちはオンラインでのプログラム配信を企画しています。

キャンプ以外にも休止を余儀なくされているクラス、プログラムなどは6月以降の順次再開に向けて準備を進めています。参加者の健康と安全を第一に考えながら段階的に再開していきます。

山中湖センター、野尻キャンプも多くの予約がキャンセルとなり現在は休館中ですが、再開へ向けた整備を少しずつ進めています。YMCAキャンプをはじめ夏の利用予定が無くなりましたが、YMCA専門学校のキャンプ実習など内部の利用を中心に、運営方法を工夫しながら両キャンプ場の利用ができないかを検討しています。

今は辛抱の時ですが、この状況の中で様々なオンラインツールやWEB上の仕組みの活用を試みる事ができました。終息した後のクラス、プログラム、そしてキャンプの運営方法、そしてスタッフの働きかた、リーダーの関わり方も、大きく変わっていかねばならないと感じています。(星野 記)

## 6月会計報告他

### 1. 月間収入・支出合計 期間 5/1~5/31

口座名	月間収入額	月間支出額
一般口	0円	0円
ファンド口	0円	9,730円

一般口主要収入 0円

一般口主要支出 0円

ファンド口主要収入 0円

ファンド口主要支出 子供食堂、弔電(前号欠落)

事業費補填 10千円 (高津 記)

### 2. リングプル 6月預かり

協力者名	重量	協力者名	重量
今月合計	0kg		

コロナに負けました。来年度は頑張りましょう！

しんやまの家にはまだ車椅子は届いてません。

齋藤昭七さん、皆さんごめんなさい。(神保 記)

## 編集後記

コロナウイルスが猛威を振るう中、開催を断念した「シニア Y・Y・Y キャンプ」の特集号を作成しようと、原稿募集を行ったところ、多くの原稿が寄せられ、ありがとうございました。なるべく寄せられたままの記事を載せられるように努力しましたが、一部編集させて頂いた記事もあります。お許しください。(鈴木 記)